

九州ルーテル学院大学
データサイエンス・AI ユーザープログラム
自己点検・評価報告書
2025 年度

自己点検・総合評価委員会

2026/05/01

1. 総評

(2025 年度の自己点検総評) 2025 年度は本プログラム開始 3 年目となり、その成果が一定程度認められる一方で、課題もより明確になった年度であった。成果

としては、一部の選択科目における履修者数の増加がみられたこと、ならびに授業評価アンケートでの「科目を学ぶ意義」及び「科目の有用性」への高く評価されている点が挙げられる。履修者は学修を通して、現代社会で求められるデータサイエンス・AI活用例を学び、本プログラムを履修する意義や目的、その有用性を理解したと評価できる。一方で、専攻によって履修者数が伸び悩んでいることに加え、学生の理解度を客観的に把握する仕組みが十分に整備されていない点は引き続き課題として残されている。今後はこれらの成果と課題を踏まえ、大学全体で本プログラムの意義及び有用性について共通理解を一層促進するとともに、プログラム内容及び運営方法のさらなるの充実に向けた具体的な検討を進める必要がある。

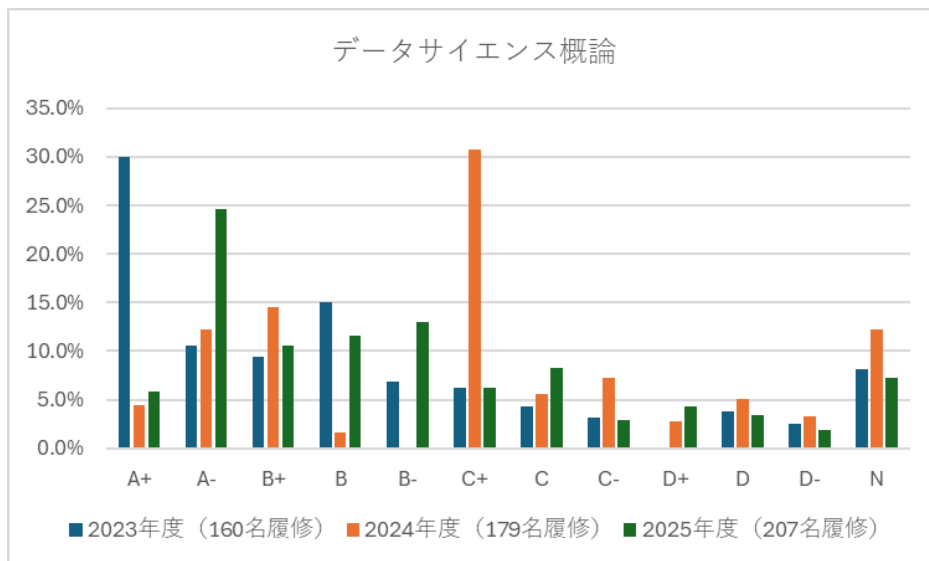
2. 評価・指摘事項

	点検・評価視点	点検内容	評価	改善計画																																																																																																																									
学内からの視点	プログラムの履修・修得状況	<p>下の表のとおり、2025年度は、保育・幼児教育専攻と児童教育専攻の1年生で、「データサイエンス基礎Ⅰ」または「情報活用基礎」の履修者がゼロまたは若干名であった。したがって、両専攻での1年生時点でプログラム修了者は若干名である。両科目とも保育士や教員免許の取得に必要な1年次科目との時間割上の重なりはないため、履修指導の在り方等を確認する必要がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>年度</th> <th>履修者数</th> <th>CE専攻</th> <th>保幼専攻</th> <th>児教専攻</th> <th>心理学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">データサイエンス概論</td> <td>2023</td> <td>160</td> <td>32</td> <td>23</td> <td>44</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>179</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>44</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>207</td> <td>56</td> <td>30</td> <td>49</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">情報活用基礎</td> <td>2023</td> <td>81</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>44</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>56</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>42</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>17</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">データサイエンス基礎Ⅰ</td> <td>2023</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>74</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>70</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">データサイエンス基礎Ⅱ</td> <td>2023</td> <td>14</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">情報活用と情報デザイン*</td> <td>2023</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>25</td> <td>9</td> <td></td> <td>1</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">プログラミングとAI活用入門*</td> <td>2023</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2024</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2025</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	科目名	年度	履修者数	CE専攻	保幼専攻	児教専攻	心理学科	データサイエンス概論	2023	160	32	23	44	61	2024	179	32	34	44	69	2025	207	56	30	49	72	情報活用基礎	2023	81	13	0	44	24	2024	56	3	0	42	11	2025	17	6	0	0	11	データサイエンス基礎Ⅰ	2023	15	3	0	0	12	2024	74	8	0	2	64	2025	70	11	0	2	57	データサイエンス基礎Ⅱ	2023	14	5	0	1	8	2024	12	0	0	0	12	2025	14	4	0	0	10	情報活用と情報デザイン*	2023						2024	10	5	0	0	5	2025	25	9		1	15	プログラミングとAI活用入門*	2023						2024	5	1	0	0	4	2025	13	2	0	0	11	<p>「情報活用と情報デザイン」「プログラミングとAI活用入門」等、選択科目において、2024年度より履修者数が増加しており、その必要性が少しずつ周知されていることがうかがえる。一方で、点検内容にも記載がある通り、一部の専攻において「データサイエンス基礎Ⅰ」「情報活用基礎」の履修者数が少なく状況が続いていることは課題である。プログラムの意義が全学生、全教員に共通理解され</p>	<p>データサイエンス・AIユーザープログラムの目的、位置づけ、修了認定等を、1年次からオリエンテーション等で十分に周知する。2024年度まで教職科目としても扱われた「情報活用基礎」は2025年度より単なるプログラム科目となったために履修者数が減ったと考えられ、担任教員も参加するオリエンテーションで、プログラムの意義と修了要件を明確に周知する（「情報活用基礎」「データサイ</p>
科目名	年度	履修者数	CE専攻	保幼専攻	児教専攻	心理学科																																																																																																																							
データサイエンス概論	2023	160	32	23	44	61																																																																																																																							
	2024	179	32	34	44	69																																																																																																																							
	2025	207	56	30	49	72																																																																																																																							
情報活用基礎	2023	81	13	0	44	24																																																																																																																							
	2024	56	3	0	42	11																																																																																																																							
	2025	17	6	0	0	11																																																																																																																							
データサイエンス基礎Ⅰ	2023	15	3	0	0	12																																																																																																																							
	2024	74	8	0	2	64																																																																																																																							
	2025	70	11	0	2	57																																																																																																																							
データサイエンス基礎Ⅱ	2023	14	5	0	1	8																																																																																																																							
	2024	12	0	0	0	12																																																																																																																							
	2025	14	4	0	0	10																																																																																																																							
情報活用と情報デザイン*	2023																																																																																																																												
	2024	10	5	0	0	5																																																																																																																							
	2025	25	9		1	15																																																																																																																							
プログラミングとAI活用入門*	2023																																																																																																																												
	2024	5	1	0	0	4																																																																																																																							
	2025	13	2	0	0	11																																																																																																																							

		<p>*新規科目のため、2024年度より開講</p>	<p>ていないこと、同様の内容を取り扱った科目が他専攻にあること等がその背景にあるのではないかと考えられる。本学のデータサイエンスプログラムのあり方について再度検討する必要がある。</p>	<p>「エンス基礎Ⅰ」は他の1年次科目と時間割で重なりはない。「データサイエンス基礎Ⅰ」「情報活用基礎」の学修意義を周知して履修率を高めるために、「データサイエンス基礎Ⅰ」「情報活用基礎」と教職課程のICT系科目との連続性を検討する。そして、プログラムのあり方については、「情報活用と情報デザイン」「プログラミングとAI活用入門」は他科目と連続性がない分、幅広く学べて良いが、一方で学びを深化させるプログラムの再構築を検討する。</p>
--	--	----------------------------	--	--

学修成果

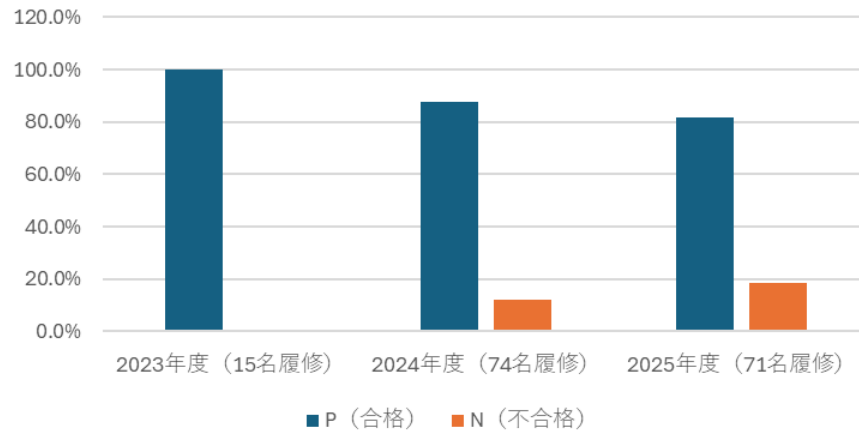
下の図のとおり、「データサイエンス概論」は昨年度に比べて 2025 年度では成績上位の履修者が増えた。一方、「データサイエンス基礎 I」や「情報活用基礎」では成績下位もしくは不合格の履修者が増えた。知識・概念修得型の講義形式の「データサイエンス概論」と、統計スキルや Excel 操作が求められる「データサイエンス基礎 I」「情報活用基礎」という授業内容が関係していると思われる。



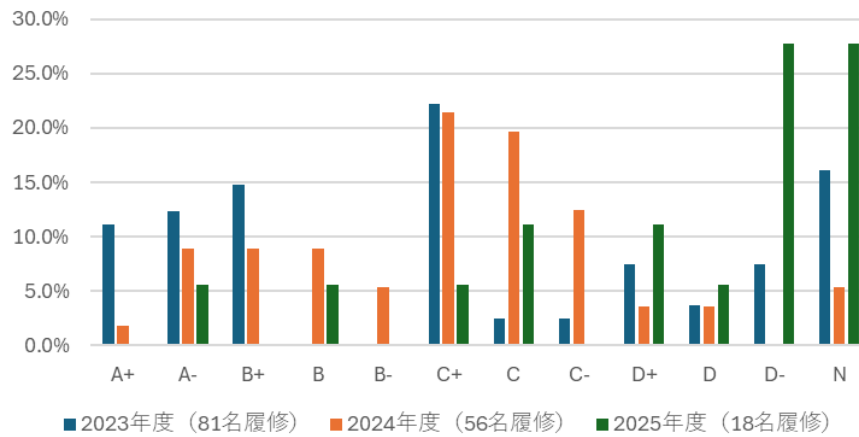
「データサイエンス基礎 I」「情報活用基礎」の不合格者数が 2024 年度と比較し増加傾向にあった要因については、担当教員並びに、授業評価アンケート等から学生の声を収集し、検討が必要である。

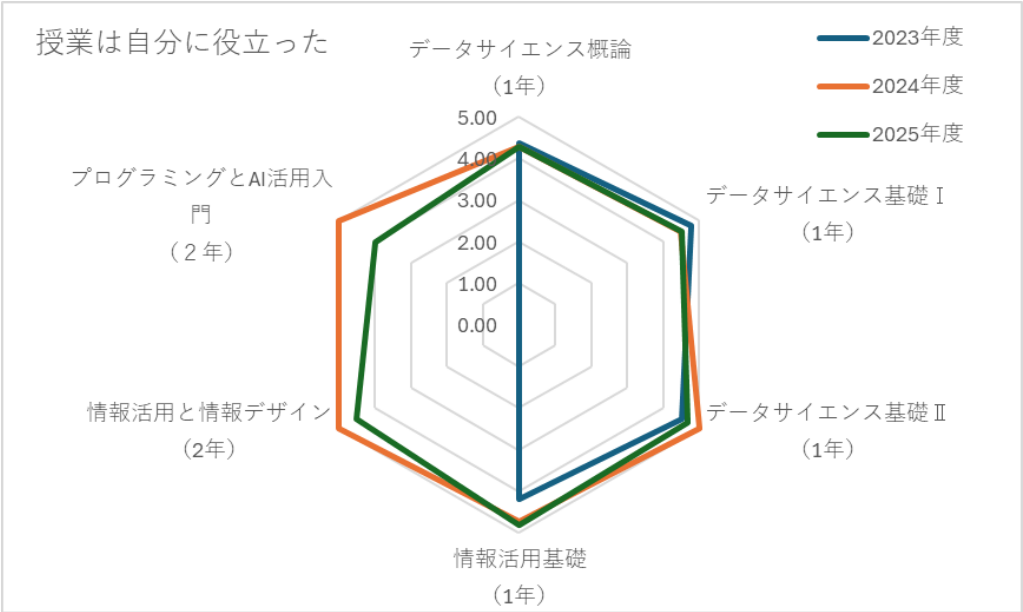
全学的に実施している授業評価アンケートのデータや、データサイエンス科目に特化した授業評価アンケートを実施して得られたデータを活用して、成績に影響する要因を検討する。

データサイエンス基礎 I



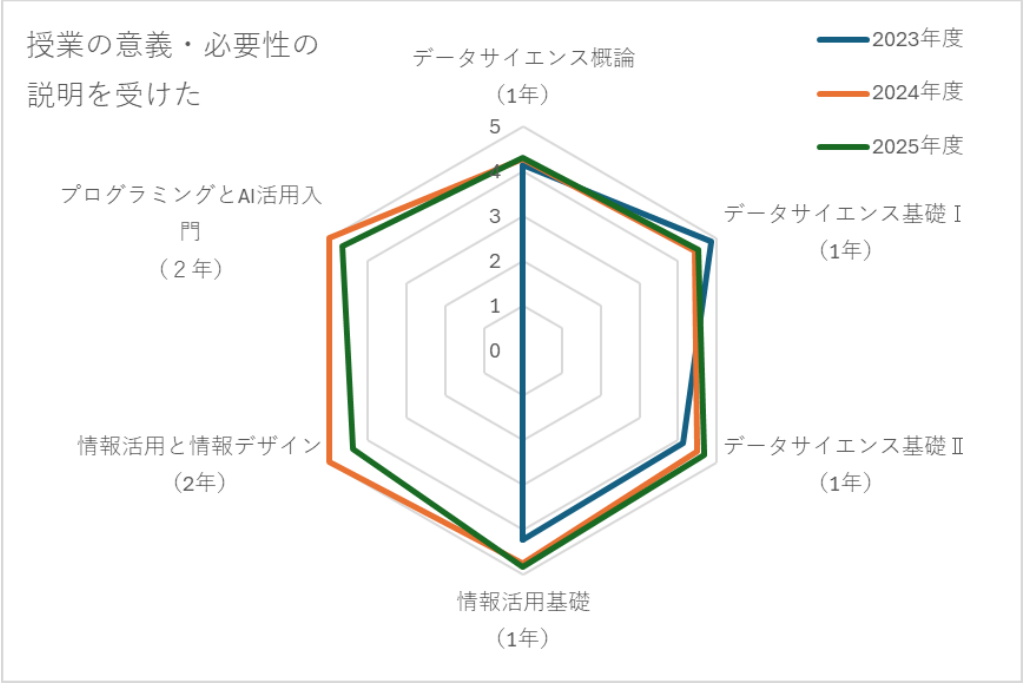
情報活用基礎



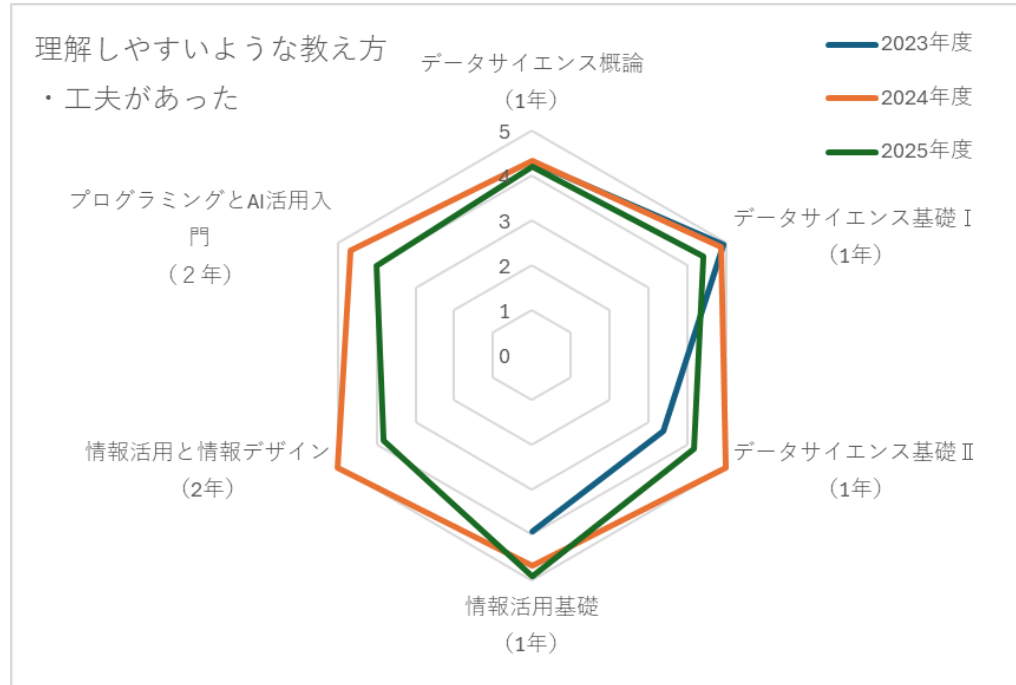
<p>学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度</p>	<p>本学の授業評価アンケートに直接理解度を尋ねる項目はないが、「全体として、この授業はあなた自身に役立つものでしたか」（評定段階：「5. とてもあてはまる」「4. ある程度あてはまる」「3. どちらでもない」「2. あまりあてはまらない」「1. 全くあてはまらない」という項目評定から推測する。下図は、データサイエンス系科目それぞれのその評定平均をまとめて示したものである。どの科目も平均 4.00 を超えているが、「データサイエンス概論」は必修かつ座学で、実際にデータやアプリ・ネットワークを活用した授業内容ではないため、役立つと感じにくい（それゆえに、体験的に理解ができない）学生が多いものと思われる。</p>  <table border="1" data-bbox="327 488 1346 1102"> <caption>授業は自分に役立った (評定平均)</caption> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データサイエンス概論 (1年)</td> <td>4.1</td> <td>4.2</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>データサイエンス基礎 I (1年)</td> <td>4.2</td> <td>4.3</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>データサイエンス基礎 II (1年)</td> <td>4.3</td> <td>4.4</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>情報活用基礎 (1年)</td> <td>4.4</td> <td>4.5</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>情報活用と情報デザイン (2年)</td> <td>4.5</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>プログラミングとAI活用入門 (2年)</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2023年度	2024年度	2025年度	データサイエンス概論 (1年)	4.1	4.2	4.3	データサイエンス基礎 I (1年)	4.2	4.3	4.4	データサイエンス基礎 II (1年)	4.3	4.4	4.5	情報活用基礎 (1年)	4.4	4.5	4.6	情報活用と情報デザイン (2年)	4.5	4.6	4.7	プログラミングとAI活用入門 (2年)	4.6	4.7	4.8	<p>現在の授業評価アンケートでは、理解度を図る項目がないため、理解度の評価はしかなるが、授業評価アンケート結果では、いずれの科目も平均 4.00 を超えており、本プログラム内容が学生にとって役立つものであると判断されていると考えられる。しかし、2024 年度と比較し、変化が大きかった「プログラミングと AI 活用入門」では、その変化の要因がどこにあるのか検討が必要である。また、2023 年度から継続して改善課題においてあげられていた、本プログラムに特化したアンケートの作成・実施にかかる検討について進捗を記載いただきたい。</p>	<p>早急にデータサイエンス科目に特化した授業評価アンケートとその項目を ICT 教育部会等で検討し、2026 年度前期より実施できるよう進める。</p>
科目	2023年度	2024年度	2025年度																												
データサイエンス概論 (1年)	4.1	4.2	4.3																												
データサイエンス基礎 I (1年)	4.2	4.3	4.4																												
データサイエンス基礎 II (1年)	4.3	4.4	4.5																												
情報活用基礎 (1年)	4.4	4.5	4.6																												
情報活用と情報デザイン (2年)	4.5	4.6	4.7																												
プログラミングとAI活用入門 (2年)	4.6	4.7	4.8																												
<p>学生アンケート等</p>	<p>本学の授業評価アンケートに直接推奨度を尋ねる項目はないが、上記の「全体として、この授業はあなた自身に役立つものでしたか」という項目の学生評定（以下の表を参照）</p>	<p>現在の授業評価アンケートでは、推奨度</p>	<p>データサイエンス科目に特化した授業</p>																												

<p>を通じた後輩等他の学生への推奨度</p>	<p>で、「データサイエンス概論」以外の科目は 1～3 の評定は殆ど無かったことから、他学生にも推奨できるものと推察される。</p> <table border="1" data-bbox="327 193 1424 459"> <thead> <tr> <th>「授業は役立った」</th> <th>5.とてもあてはまる</th> <th>4.ある程度あてはまる</th> <th>3.どちらでもない</th> <th>2.あまりあてはまらない</th> <th>1.全くあてはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データサイエンス概論 (1年)</td> <td>62</td> <td>59</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>データサイエンス基礎 I (1年)</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>データサイエンス基礎 II (1年)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>情報活用基礎 (1年)</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>情報活用と情報デザイン (2年)</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>プログラミングと AI 活用入門 (2年)</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	「授業は役立った」	5.とてもあてはまる	4.ある程度あてはまる	3.どちらでもない	2.あまりあてはまらない	1.全くあてはまらない	データサイエンス概論 (1年)	62	59	9	4	2	データサイエンス基礎 I (1年)	10	5	0	1	0	データサイエンス基礎 II (1年)	5	0	1	0	0	情報活用基礎 (1年)	9	2	0	0	0	情報活用と情報デザイン (2年)	9	6	1	0	0	プログラミングと AI 活用入門 (2年)	2	0	0	1	0	<p>を図る項目がないため、評価しかねる。しかし、科目の有用性についてのアンケート結果から、後輩学生に推奨できる内容であると評価できる。</p>	<p>評価アンケートにおいて後輩への推奨度を測定する項目を検討する。</p>
「授業は役立った」	5.とてもあてはまる	4.ある程度あてはまる	3.どちらでもない	2.あまりあてはまらない	1.全くあてはまらない																																								
データサイエンス概論 (1年)	62	59	9	4	2																																								
データサイエンス基礎 I (1年)	10	5	0	1	0																																								
データサイエンス基礎 II (1年)	5	0	1	0	0																																								
情報活用基礎 (1年)	9	2	0	0	0																																								
情報活用と情報デザイン (2年)	9	6	1	0	0																																								
プログラミングと AI 活用入門 (2年)	2	0	0	1	0																																								
<p>全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>	<p>昨年度に引き続き 2025 年度も前期開講前に、入学生オリエンテーションや 2 年生オリエンテーションで本学のデータサイエンス教育プログラム「データサイエンス・AI ユーザープログラム」を案内した。</p>	<p>各オリエンテーションを活用して、プログラムについての周知を行っているが、一部の専攻において、同様の内容を取り扱った科目もあり、履修する意義が学生・教員に伝わっていない可能性も推察される。選択科目の履修率向上に向けては、学生だけでなく、教員間での共通理解を図る方法も検討いただきたい。</p>	<p>2025 年度終了間際にデータサイエンス教育に関する大学間合同研修会を開催したが、本学教職員の参加は少なく、そもそもデータサイエンス教育の意義や効果を十分に伝えることはできなかつた。また、専門教育との接続性も弱く、例えば、データサイエンス系の共通教育科目が、教職の ICT 系科目や心理のデータ解析系科目とどのように連続するのかを説明したり図化したりする必要がある。早急に、ICT 教育部会等で、教員への理</p>																																										

				解を深める方法を検討する。
学外からの視点	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	2024年度は本プログラム修了者が本学を卒業していないため、進路・活躍状況・企業評価について情報を確認できない。	修了生が卒業していないため、評価しかねる。今後、卒業生アンケート、雇用先アンケート等を活用して、修了生の評価をしていく必要がある。	2027年度以降から修了生が社会人となるため、それに向けて卒業生アンケートや雇用先アンケートのデータサイエンス教育用の項目を追加することを、ICT教育部会と就職支援委員会が共同で検討する。
	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	2025年12月4日に行われた大学モニター会議で、本学卒業の企業人から、データサイエンスが職場でどういうところで使われるかを明確に学生に示すこと、また、学生の夢や職業上の実現においてデータサイエンスの何が重要でそれをどう生かすかを示すことで、学生の履修者数増加やさらにハイレベルのデータサイエンス科目への履修も促すことができるという提案をいただいている。また、同じく、学生にとって身近なテーマに関連したデータを使って可視化したり、実際にデータを学生が簡便な分析ツールで可視化したりする授業を組み込むことで、学生のデータサイエンスへのモチベーションが高まる可能性があることも提案された。	大学モニター会議でデータサイエンスの必要性や方向性について議論が行われていることは評価できる。学生の意見も踏まえて本学のプログラムの内容についてより具体的に検討いただきたい。	ICT教育部会等で、大学モニター会議で出た意見を共有して、今後のプログラム内容を検討し、検討結果を逐次報告する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させる		本学の授業評価アンケートで、「学ぶことの意義」を理解させることに関係する項目として「授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた」（評定段階：「5. とてもあてはまる」「4. ある程度あてはまる」「3. どちらでもない」「2. あまりあてはまらない」「1. 全くあてはまらない」）があるため、その項目の学生評定平均を以下のとおり示す。2025年度は、どの科目も評定平均は「4. ある程度あてはまる」を超えており、学ぶことの意義や楽しさを理解させていない科目はないものと思われる。特に「情報活用基礎」は2023	授業評価アンケート結果では、いずれの科目においても4.00を超えており、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」について学生が	ICT教育部会等で、学科・専攻の専門に沿った内容を反映した授業内容や科目を検討し、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を

<p>こと</p>	<p>年度に比して、2024・2025年度は飛躍している。ただし、「データサイエンス概論」は2023年度から変化がなく「4. ある程度あてはまる」近くにとどまっており、項目回答（履修者）数も多いことから、学ぶことの意義や楽しさが理解できない学生が一定数いたものと思われる。</p>  <p>授業の意義・必要性の説明を受けた</p> <p>2023年度 2024年度 2025年度</p> <p>データサイエンス概論 (1年)</p> <p>データサイエンス基礎 I (1年)</p> <p>データサイエンス基礎 II (1年)</p> <p>情報活用基礎 (1年)</p> <p>プログラミングとAI活用入門 (2年)</p> <p>情報活用と情報デザイン (2年)</p>	<p>理解していることは評価できる。</p> <p>大学モニター会議でも挙げられたように、学科・専攻の専門に沿った内容を今後とも検討いただくと、より学生の「学ぶことの意義」に通じるのではないかと考えられる。</p>	<p>高められる授業・科目・プログラムの構築に向けて検討する。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>本学の授業評価アンケートで、「分かりやすい」授業とすることに関する項目として「理解がしやすいように教え方が工夫されていた」（評定段階：「5. とてもあてはまる」「4. ある程度あてはまる」「3. どちらでもない」「2. あまりあてはまらない」「1. 全くあてはまらない」）があるため、その項目の評価平均を以下のとおり示す。2025年度は、「4. ある程度あてはまる」を大きく超えている科目は「データサイエンス基礎 I」「情報活用基礎」であった。一方で残りの4科目「データサイエンス概論」「データサイエンス基礎 II」「情報活用と情報デザイン」「プログラミングと AI 活用入門」は「4. ある程度あてはまる」の近くはそれより下回る評定平均であり、理解しやすい工夫が十分であったとは思われない。特に「データサイエンス概論」は2023年度から変化がなく「4. ある程度あてはまる」近くにとどまっており、項目回答（履修者）数も多いことから、理解しやすい工夫を</p>	<p>授業評価アンケート内の「理解がしやすいように教え方が工夫されていた」項目において、2025年度は「情報活用基礎」を除く全ての科目で2024年度を下回る結果となった。大学モニター会議での学生意見に</p>	<p>ICT教育部会等や科目担当者間会議等で、分かりやすいとはどういうことかを再確認し（例えば、身近なデータを扱う、初學者でも簡単な操作でデータ処理・分析ができるなど）、それに基づいた方法を共有でき</p>

感じなかった学生や授業内容を理解できなかった学生が一定数いたものと思われる。



また、2025年12月4日に行われた大学モニター会議では在学生在が、「データサイエンス概論」や「データサイエンス基礎 I」の内容が身近なものではないため、分かりにくいというコメントをしている。こうした意見から、数理統計的概念の学修よりも、身近なものとしてデータを理解して触れる・可視化する学修を授業に組み込むことが先決であると推察された。

もあるように、理解しやすい工夫が十分実施されていなかったことが背景にあるのではないかと考えられる。まずは学生の学修意欲が向上し、その意義が伝わりやすいような内容の検討が必要である。

るよう図る。